

化学工学会エネルギー部会熱利用分科会 第18回研究会  
「吸着ヒートポンプ・デシカント新技術  
—ダイキン工業堺製作所ソリューションプラザ見学と講演会—」  
開催報告

日時：平成21年8月5日(水)

平成21年8月5日13:30より、ダイキン工業堺製作所金岡工場にて、42名の方々のご参加いただき、平成21年度研究会を予定どおり開催しました。

前半の講演会は技術棟1F ゲストルームで、津山高等専門学校校長・稲葉英男先生とダイキン工業・池上周司氏のご講演がありました。稲葉先生は「吸着系空技術に研究開発動向」と題して、吸着・収着現象、わが国を取巻くエネルギー環境、吸着系熱サイクル普及社会的背景から、最新の吸着材料の紹介、次世代の吸着系装置の動向まで、吸着系空調技術の現段階を網羅したご講演をしてくださいました。



ご講演中の稲葉先生



質疑応答中の池上氏と参加者

池上氏からは、DESICAの原理、開発のカギとなったハイブリッド DESICA素子の特長、従来の調湿空調技術との比較、省エネルギー・CO<sub>2</sub> 排出削減効果についてなどの内容で調湿外気処理機 DESICAを紹介するご講演がありました。

その後、金岡工場内のソリューションプラザに移動して家庭用、ビル用、店舗用の種々の空調機器、自然冷媒給湯システムを見学しました。とりわけDESICA体感ルームではデシカ装置の内部が見える展示を前に熱心な質疑応答が続きました。



講師を囲んで参加者の皆様